

令和 8 年度

# 事業計画書

社会福祉法人 登別千寿会

# 1. 社会福祉法人 登別千寿会 事業計画

## 【事業方針】

特別養護老人ホーム緑風園開設から40年以上、平成11年の増改築から30年近く経過し、緑風園の備品・設備の老朽化が進み、「備品が古い」「設備がボロボロ、故障が多い」など職場環境の悪化で、職員が働きづらい環境にあったことから、令和7年度は、特殊浴槽の入替更新、入所者の介護用ベッドの更新や加湿器、空気清浄機の整備など職場環境の整備に取り組んで参りました。また、近年の夏の猛暑は、北海道でもエアコンが必要な気候になり、入所者や職員の体調に与える影響も大きく、迅速な対応が必要なことから、緑風園及びニナルカの里へのエアコン設置を行います。

今後も職場環境の整備を進めていくためには、安定した経営が不可欠であることから、施設の空床期間の短縮、ショートステイやデイサービスの稼働率の向上など収益向上のために職員全員が協力し、業務に取り組んでいかなければなりません。また、労働人口の減少による働き手の不足の解消のため、外国人労働者の受け入れを進めていくと同時に、長く働いてもらえる職場づくりにも取り組んで参ります、

# 2. 特別養護老人ホーム緑風園 事業計画

◎介護老人福祉施設 定員：105名

◎(介護予防)短期入所生活介護事業所 定員：7名

## 【事業方針】

特養の入所稼働率98%以上を目指し、空床期間をなるべく短くし、新規入所者の迅速な調整と、在宅の特養待機者には、積極的にショートステイの利用を促進し、1日平均4名を目指す。

入所者の平均介護度4.3以上を維持できるように、入所者のADL、認知症度など介護負担を適時評価し、必要に応じて、要介護認定の区分変更申請を行っていきます。

令和7年度にインドネシア人の「特定技能」の介護職員を採用しました。人口減少が進む中で、外国人介護職員は貴重な人材であり、今後も採用の継続は必要と考える。その中で、外国人介護職員が定着し、長く勤務してもらえるように、仕事のみならず、私生活の支援や地域との交流など、外国人介護職員が働き甲斐のある職場にしていきます。

また、職場環境の整備をすすめ、職員が働きやすい職場となるよう備品や設備の更新、老朽化した設備の計画的な更新に取り組んでいきます。

## 『今年度目標』

- ・出来る限り空床を作らない様、新規入所者を10日以内に入所させる。
- ・入所者の平均介護度4.3以上を維持し、入所者のADL、認知症度を観察し、適時、要介護認定の変更申請を行う。
- ・ショートステイの利用者人数は、1日平均4名、1ヶ月の平均稼働率40%～60%を目指す。
- ・外国人介護職員の仕事・私生活等の支援を継続し、長く勤務してもらえる職場づくりに取り組む
- ・職場環境の整備、設備の計画的な更新を行う

### 3. デイサービスセンター緑風園 事業計画

◎地域密着型通所介護 定員：18名

◎通所型サービスA 定員：7名

#### 【事業方針】

要介護利用者の利用に重点を置き、要支援者の利用も含め、1日の利用人数16名平均を目指していく。

他事業所への営業を積極的に行い曜日別の空き情報の提供、デイサービス体験など積極的に行い、新規利用者獲得に繋げていき、欠席された利用者への振替利用の促しなどにより、稼働率の向上に繋げる。

利用者からの口コミや紹介で新規利用に繋がったケースもあるため、利用者から選ばれる事業所を目指し、サービスの質や魅力の向上、広報活動の一環として、家族通信のような広報誌を定期的に刊行していきます。

近隣市町村の事業所や入所施設で、新型コロナの感染やクラスターが多く発生しているため、当事業所においても利用者の検温等の体調確認、施設内消毒を徹底し、事業所内で感染者を出さないように感染対策を徹底していきます。

#### 『今年度目標』

- ・1日の利用人数平均16名を目指し、居宅介護支援事業所・地域包括支援センターへの営業を積極的に行う。
- ・サービスの質や魅力の向上を目指す。家族通信のような広報誌を定期的に刊行していく。
- ・利用者の検温や体調確認、事業所内の消毒等の感染対策を徹底する。

### 4. 緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里 事業計画

◎ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 定員：29名

◎ユニット型(介護予防)短期入所生活介護事業所 定員：11名

#### 【事業方針】

特養の入所稼働率98%以上を目指し、空床期間をなるべく短くし、新規入所者の迅速な調整と、在宅の特養待機者など、ショートステイの長期利用の利用者を積極的に確保し、緊急利用できる部屋を確保していることを最大限活用し、積極的にショートステイの利用を促進し、1日平均5名を目指す。看取り介護への取り組みを推進し、施設で看取り介護を行えることで、病院への転院(退所)を最小限に減らし、住み慣れた場所での人生の最期に寄り添えることができるため、職員教育も含め、より良い看取り介護を行えるように取り組んでいく。

#### 『今年度目標』

- ・入所者の平均介護度4.0以上を目指し、空床を作らないよう、待機者の状況を常に確認し、空床が出来た際には10日以内の受け入れを目指す。
- ・ショートステイの1日平均利用者5名以上を目標とし、緊急ショートの積極的な受け入れを行うと共に、新規利用者の確保に努める。
- ・看取り介護をより良くするため、職員教育に取り組んでいく。

## 5. 緑風園居宅介護支援事業所 事業計画

### 【事業方針】

在宅の利用者の生活ニーズの把握に努め、効果的かつ実現可能な質の高い居宅サービス計画の作成に努めるとともに、利用者の医療ニーズが増加・多様化してきているため、医療機関との連携や多種職との協同が今まで以上に必要となってきたため、連携強化に努める。

要支援認定者については、状況に応じて受け入れつつ、要介護認定者の件数を安定させ、質の高いケアマネジメントの実践の為、研修会等への積極的な参加、自己研鑽、関係各所との情報交換やネットワーク構築を図り、業務が円滑に進むように努めて参ります。

### 『今年度目標』

- ・要介護認定者の受持ち件数85件を目標とし、要支援認定者についても状況に応じて受け入れを行う。
- ・要介護認定者の件数を安定させ、質の高いケアマネジメントの実践を行う。
- ・法人内事業所との連携強化を図り、スムーズに協働できる体制を整える。